

# 株式会社パルコモード

【対象類型】 ものづくり技術

【事業類型】 設備投資のみ

事業計画名

最新縮絨機を導入し、素材加工を実施し、高付加価値製品を提供する。



最新式スポンジマシン(最新縮絨機)



縮絨機のスチーム部分



最後は人の目で一点一点検品作業を行い、出荷する

## 事業の背景・目的

当社は高級婦人服の受託製造を行っており、原料の生地を入荷してから作業がはじまる。

現在、国内の縫製業者は減少しており、婦人服市場における国内製品割合は3%であり、残りの97%は海外製品が占めている。原料となる生地も外国製品が増えており、国により品質基準が異なるため、事前に加工を施して生地を安定させなければならない。

また、最近の傾向として、ストレッチ性など心地よさが追求され、以前にはなかった収縮しやすい不安定な生地が多く使用される。そのため、寸法が想定とは異なる仕上がりになることがあり、今までは縫製工程で手直していた。多様化する繊維素材の品質を損なわないよう、スポンジマシンの導入が望まれていた。

## 事業内容

国内外から入荷するさまざまな生地や新開発素材への対応、また、指示数値に仕上がらず寸法の差による再作製や手直しを防ぐために、最新式スポンジマシン（最新縮絨機）を導入した。

現有の縮絨機は、スチームか熱処理で素材を安定させていたが、最新縮絨機では第一段階でスチーム条件を与え、第二段階で熱加工の条件を加え素材を落ち着いた状態にし、第三段階で空冷して固定化する機能を有している。この三段階の工程により、縫製工程時の素材収縮を事前に防ぎ、安定素材として後工程に流すことで、生産性の向上と品質の確保が図れる。

## 業務内容

- 有名アパレルメーカー婦人服ボトムス(パンツ・スカート)を専門に裁断から縫製、仕上げプレス、検品、出荷まで一貫して行っている。
- 東北唯一の企業内訓練校「パルコモードファッションスクール」を開校し、社内で技術・知識を学ぶ環境を有している。
- 独自の生産システムで時代のニーズに応える短サイクルのものづくりを進めている。



代表取締役社長 山本 美樹子

代表者:山本 美樹子  
設立年:昭和49年8月  
資本金:5,000万円  
従業員:200名(グループ工場 パルコヌーベル南陽含む)

住所:山形県米沢市城西4丁目4番21号  
電話:0238-23-8201 FAX:0238-23-8203  
URL:<http://www.parcomode.com>  
e-mail:ホームページお問合せより

## 流行で変化する高級婦人服の素材を機械導入・縫製技術で確実に仕上げる 国内有名アパレルメーカーの信頼に応え、ブランド品質を高める



最初に収縮をおさえ、素材を安定させることで、縫製工程がスムーズになる

## 事業の成果

最新式スポンジングマシンの導入により、素材を安定させることができたため、加工能力および作業効率がアップし、リードタイムが短縮された。

工程の中でも、もっとも品質を左右する縫製段階において、生地の変縮により寸法に差が出た場合、今までは技術力でカバーしなければならず、作業者によって品質に差が生じる可能性があった。最新式スポンジングマシンでは、安定した素材を縫製ラインに流すことができるようになったため、縫製しやすくなった。

現在、当社が製造する全素材のスポンジング割合は30%であるが、メーカー側の要望もあり、今後は40%から50%まで高めていく予定でいる。また、同業他社で最新式スポンジングマシンを導入しているところは少ないため、受注にも好影響がでている。

## 今後の展望

当社は国内の有名ブランドを有するアパレルメーカーからの受託製造を行っている。国内のアパレル製造が減少している中で、海外製品との差別化を図るうえでも、アパレルメーカーのブランド製品を高品質・短納期で収められることは強固な信頼となり、新たな受注獲得につながる。

婦人服においても、ジャパंकオリティーが一段と求められている昨今、品質を高めた付加価値のある製品を製造することで、受注増加をめざしていく。

また、外部指導等を取り入れ生産性を向上させることで、新たな雇用の機会が生まれると考えている。43年間地元で密着した事業を行っており、今後も継続していくことがもっとも重要なことであるため、顧客満足度を向上させ経営の安定をめざしていく。